

1/23 (月) ~ 2/4 (土) の行事

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 1月19日(木) 9時30分

発表項目 (行事名)	ニュージーランド 先住民マオリ部族 先住民交流ツアーについて		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>ニュージーランド大使館とエデュケーションニュージーランドから、別紙のとおり取材の案内がありましたので、お知らせします。</p> <p>なお、取材につきましては、<u>エデュケーションニュージーランドへの事前お申込み制 (〆切：1/20 (金) 16:00 まで)</u> となっております。</p> <p><u>各滞在地における取材については、Email : japan@enz.govt.nz までお問い合わせ願います。</u></p>		
参考	<p>・北海道は2018年5月から在日ニュージーランド大使館との間で「北海道と在日ニュージーランド大使館とのパートナーシップに関する覚書」を締結しており、道は今回の先住民族交流ツアーの受入に協力を行っています。</p>		

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	日高振興局記者クラブ 胆振総合振興局記者クラブ 釧路総合振興局記者クラブ

担当 (連絡先)	総合政策部国際局国際課 (担当者：課長補佐 篠原 朋美) TEL 011-204-5091 内線 21-205
-------------	---



### 取材案内

令和5年1月18日

ニュージーランド大使館

エデュケーション・ニュージーランド

### <ご取材のご案内>

ニュージーランド 北島 先住民マオリ部族：ンガティ・マニアポト  
2023年1月23日～2月4日まで 北海道にて先住民交流ツアーに参加

このたび、ニュージーランド北島、ワイカト地方の先住民マオリ部族：ンガティ・マニアポトより、ニュージーランド政府奨学生8名が、北海道総合政策部 国際局国際課の協力の下、1月23日から2週間、道内を巡る先住民交流ツアーに参加いたします。

8名の奨学生は、学生から社会人まで多岐にわたり、エデュケーション・ニュージーランド（ニュージーランド政府教育広報機関）の運営する政府の奨学金を得て、部族を代表しての初来道となります。ツアーでは、道内各地のアイヌ関連団体や文化施設を訪問し、アイヌ民族について学び、両国の先住民文化交流を深めることを目的としています。

つきましては、以下の日時にアイヌ民族文化財団の職員（ならびに国立アイヌ民族博物館職員）の皆様と交流会を行いますので、是非ともご参加賜りますようお願い申し上げます。

開催日時	1月24日（火） 午後3時～3時50分
会場	ウボボイ民族共生象徴空間 ポロ チセ 059 0902 北海道白老郡白老町若草町2-3
プログラム	15:00 アイヌ民族文化財団の代表者よりご挨拶 15:02 エド・トゥアリ（エデュケーション・ニュージーランド チーフ・マオリ・アドバイザー）より関係者皆様への感謝の言葉 15:05 ルーク・モス（ンガティ・マニアポト グループ代表）より挨拶 15:10 芸能披露 一語り、ムックリ、イフンケ（子守唄）、ク（ウ） 15:30 意見交換（文化振興部長、伝統芸能課・体験教育課職員及び博物館職員が参加予定） 15:50 終了

ご取材を希望される方は、ご参加申込フォームに必要事項をご記入の上お申し込みください。他の訪問先でもご取材をお受けできる場合もございますので、下記ツアー日程表をご確認の上、事前にご相談くださいますようお願い致します。

## ツアー詳細日程

日付	滞在地	主な訪問先
1/23-25	白老	国立アイヌ民族博物館 国立アイヌ民族文化財団 白老アイヌ協会
1/26-28	平取	二風谷小学校 子どもアイヌ語教室 沙流川歴史館 アイヌ工芸伝承館 平取町イオル文化交流センター
1/29-2/1	阿寒	阿寒湖アイヌコタン 阿寒アイヌ協会 釧路市アイヌ文化伝承創造館「オンネチセ」 阿寒湖アイヌシアター「イコロ」
2/2-4	札幌	北海道博物館 札幌大学ウレシバクラブ アイヌ民族文化財団 北海道庁（国際課、アイヌ振興課 並びに教育庁）

### 【エデュケーション・ニュージーランドについて】

エデュケーション・ニュージーランド（ENZ）は、独立政府機関として、ニュージーランド政府の掲げる国際教育戦略に基づき、国際教育や教育交流がニュージーランド社会にもたらす社会・文化・経済面価値を創造する役割を担っています。ENZは、世界18か所に拠点を置き、約100名の職員が勤務しています。ニュージーランド国内の小・中学・高等学校、英語学校、私立高等専門教育機関、国立工科大学、国立総合大学等といった教育機関と連携を図り、また海外の拠点においては、ニュージーランド政府関連機関、海外政府機関、教育機関と協力して、未来教育の構築、ニュージーランド教育機関の国際化や国際交流の機会の創出に努めています。

ENZ公式サイト <https://enz.govt.nz/>

ENZ公式留学サイト <https://www.studywithnewzealand.govt.nz/>

### 【ンガティ・マニアポト（Ngāti Maniapoto）について】

ンガティ・マニアポトは、17世紀からニュージーランド北島のワイカト州南部に定住していた先住民マオリ部族で、およそ35,000人から構成されています。彼らは、19世紀からの植民地政策に対する損害賠償のため、ニュージーランド政府と和解交渉を続け、30年の歳月を経て、2022年9月に最終合意に至りました。

今回の先住民交流ツアー参加者は、マニアポト部族の中でも90年代後半に設立されたばかりのマラエ（集落）出身です。

ンガティ・マニアポトの文化継承、また海外交流を促進するため、様々な活動を行っています。



参照：<https://teara.govt.nz/en/ngati-maniapoto>（英語）

<https://tenehenehenui.iwi.nz>（英語）

## 取材申込書

エデュケーション・ニュージーランド 在日事務所 宛  
Email: [japan@enz.govt.nz](mailto:japan@enz.govt.nz) Fax: 03-3467-2278

締め切り 令和5年1月20日 午後4時まで

交流会： ニュージーランドマオリ族による先住民交流について  
日時： 令和4年1月24日 午後3時 - 3時50分  
場所： ウボボイ民族共生象徴空間 ポロ チセ  
参加者： エド・トゥアリ（エデュケーション・ニュージーランド、チーフ・マオリ・アドバイザー）  
ルーク・モス（先住民研修ツアー参加者代表）ならびに  
アイヌ民族文化財団の皆様

### 冒頭撮影

ムービー		スチール	
台	人	台	人
御社名			
所属部署名			
メディア（番組・媒体名）			
ご芳名			
ご連絡先	TEL :		
	Email :		

〈問い合わせ先〉

エデュケーション・ニュージーランド  
在日事務所  
在日本ニュージーランド大使館  
Email: [japan@enz.govt.nz](mailto:japan@enz.govt.nz)